

## 徳島県病院事業経営強化計画（素案）について

### 1 策定の趣旨

令和 4 年 3 月に総務省から示された「公立病院経営強化ガイドライン」を踏まえ、新興感染症への対応と通常医療の両立を図りながら、県立病院としての機能・価値を高め、関連病院との連携・機能分担の下、経営の改善・安定化を推進するための取組指針として策定。

### 2 計画の期間

令和 5 年度～令和 9 年度（5 年間）

※「徳島県病院事業経営計画（第 2 期）」（R3～R7）は、令和 5 年 3 月末をもって廃止。

### 3 計画の概要

#### （1）現状の課題

- ① 新興感染症対応と通常医療との両立
- ② ポストコロナを見据えた経営の改善、安定化
- ③ 医師・看護師等の確保、勤務環境の整備

#### （2）経営強化に向けた重点項目

##### ① 新興感染症対応と通常医療との両立に向けた医療提供体制の構築

- ・ 中央病院 E R 棟を拠点とする重篤な患者の受入れ強化
- ・ 三好病院における新たな外来棟の検討
- ・ 感染拡大時を想定した医療提供体制の整備
- ・ 新興感染症に対応可能な看護師等の養成・配置

##### ② 県立病院としての機能・価値の向上

#### ○各病院の機能充実

##### 中央病院

- ・ E R 棟において、感染症対応、救命救急、災害医療、人材育成、遠隔診療を強化
- ・ 本館棟の改修により、三次救急機能の強化、I C U 等の拡充を図る

##### 三好病院

- ・ 高度急性期から回復期まで、地域のニーズを踏まえたシームレスな医療を提供
- ・ 「西の教育の拠点」として、初期臨床医、地域特別枠医師の人材育成機能を拡充

##### 海部病院

- ・ 「先端災害医療の拠点」として、急性期医療機能を発揮
- ・ 「地域包括ケア病棟」による在宅復帰支援、関係医療機関と連携した「在宅医療」を推進

○「医療DX」の推進

- ・「遠隔医療」の更なる推進（「徳島医療コンソーシアム」構成病院への展開等）
- ・「情報セキュリティ対策」の強化
- ・IoT、AI等の技術を活用した業務改善や「マイナンバー」への対応
- ・「医療DX」を推進する情報化人材の育成と体制強化
- ・「2025年大阪・関西万博」での本県遠隔医療の発信

③機能分化・連携強化

- ・新型コロナ対応における「重点医療機関」としての機能発揮
- ・「徳島医療コンソーシアム」での遠隔医療の展開や人事交流に係る連携強化
- ・「第8次保健医療計画」（R5策定予定）を踏まえた役割分担・連携強化への対応

④経営力の強化

- ・他県での成功事例等を踏まえた最適な経営形態の研究
- ・病院経営に関する専門人材の採用・育成及び外部コンサル等の活用
- ・新たな診療報酬加算の獲得、未収金の早期回収等による収益拡大

⑤医師・看護師等の確保策の強化、働き方改革の推進

○医師・看護師等の確保策の強化

- ・「地域特別枠医師」等の確保、「寄附講座」による医療提供体制の確保・充実
- ・看護師等の処遇改善の実施、適正な給与水準の確保
- ・「医師事務作業補助者」、「看護助手」等の効果的な配置

○医師・看護師等の研修・勤務環境の改善・充実

- ・高度な知識や技術・経験を持つ指導医や専門医の育成
- ・県立3病院の診療機能の特性を活かした魅力ある教育環境の整備
- ・男女問わず働きやすい環境づくりや海部病院の医師公舎等の整備

○医師・看護師等の働き方改革の推進

- ・医師の確保による診療体制の充実、宿日直許可取得等による労働時間短縮
- ・特定看護師の育成、病棟薬剤師の配置等によるタスクシフティング等の推進

（3）取組目標及び収支計画

※現在、検討中

令和5年度以降の各数値は、現行計画の内容を仮置き

**4 今後の予定**

- |      |                                     |
|------|-------------------------------------|
| 1 1月 | パブリックコメント実施                         |
| 2月   | 「県立病院を良くする会」から意見聴取<br>文教厚生委員会へ最終案報告 |
| 3月   | 計画策定                                |